

2001年11月25日 於：カトリック習志野教会

「習志野ドイツ兵を偲ぶ会」アルバム



↑の写真は習志野市教育委員会の公式HPから
ドイツ兵捕虜収容所についての歴史と写真について同HPにリンク↓
「第一次世界大戦と習志野-大正8年の青きドナウ-」

=はじめに=

郷土史を研究しているS氏から、2001年11月にカトリック習志野教会で行われた「習志野ドイツ兵を偲ぶ会」の一枚のスナップ写真をご覧になって、その会のことを知りたく、また写真が残っているかとお問い合わせがありました。

カトリック習志野教会は、2000年秋に献堂されたばかり。そしてこの場所は、第一次世界大戦のとき、ドイツ兵約千名が収容された習志野俘虜収容所の東隣にあり、また近くの習志野霊園には当時流行したスペイン風邪で病没したドイツ兵30人の慰霊碑もあります。

2001年当時、千葉県日独協会で活動されていた信徒の澤氏から、毎年11月の「ドイツ国民哀悼の日」に、ドイツの駐日武官と日独協会主催の慰霊祭が行われていて、駐日武官が習志野までおいでになるなら、当教会での追悼ミサとドイツ兵捕虜収容所の写真展、日独友好パーティーの催しを行おうとの提案があり、習志野市教育委員会の協力も得て、11月24～25日に「習志野ドイツ兵を偲ぶ会」が開催されました。

2001年当時のHP「さわらび通信」にアップした記事は削除して残っていませんでしたが、S氏に提供するため古いハードディスクのファイルを探したら、写真が残っていました。

これらの写真には、帰天された方々も多く、あまりに懐かしくて、アルバムにしてみました。

ご覧いただければ幸いです。

2001.11.23 信徒ホールにて
展示会場の設営作業



2001.11.23 信徒ホール
展示会場の設営作業



2001.11.24 一般公開の展示会場（信徒ホール）
星昌幸先生（習志野市教育委員会）が市民に説明



2001.11.24

星昌幸先生と見学者の皆様



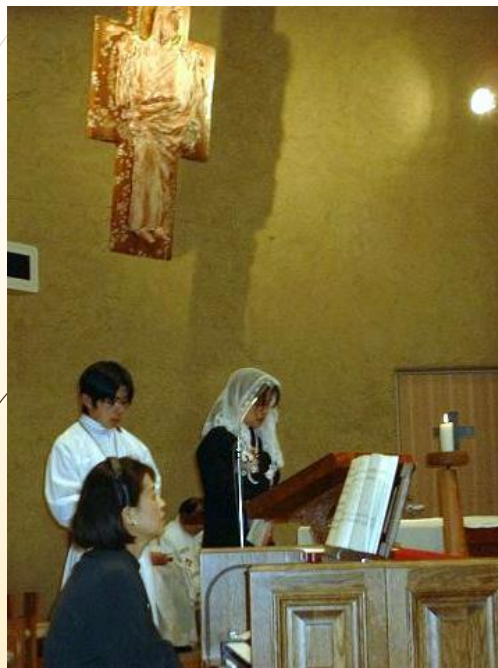
2001.11.25 聖堂での
ドイツ兵捕虜追悼ミサの前



2001.11.25 ドイツ兵捕虜の追悼ミサ



2001.11.25 追悼ミサ



2001.11.25 ドイツ大使館のWallner武官のスピーチ



2001.11.25 展示会場受付にて



2001.11.25 展示会場にて
実行委委員長の澤さんとドイツ大使館の皆さん・駐日武官さんと



2001.11.25 展示会場にて



2001.11.25 日独交流パーティー



2001.11.25 日独交流パーティーにて



2001.11.25 日独交流パーティーにて



2001年11月当時の ドイツ兵捕虜収容所跡



捕虜収容所跡

「軍野習志野」と呼ばれたほど、かつてのわたしたちのまらには数多くの軍関係施設がありました。なかでも東習志野地区には高津東・西廠舎（兵士の仮宿舎）、糧秣廠倉庫（人馬の食糧補給倉庫）、および捕虜収容所がありました。

特に、日露戦争（明治三十七年～三十八年）における捕虜収容所は、現在の習志野高校からこの地まで約五十五万坪の敷地に七十五棟の収容所が建ち並び、明治三十八年から三十九年一月までロシア兵捕虜を収容しました。捕虜の数は、最も多い時期には一万五千名にもものぼりました。当時の津田沼町の人口は約六千人、習志野騎兵旅団が総数三千人弱でした。

その後、収容所は高津東・西廠舎、糧秣廠倉庫として使用されました。第一次世界大戦（大正三年～八年）の時にはドイツ兵捕虜を収容するため、大正四年にのべ千三百坪の収容所を新たに建設し、大正七年には五四八人を収容したことが記録に残っています。



東習志野地区の軍施設（大正6年）

習志野市教育委員会

昭和五十六年三月

2001年11月当時のドイツ兵捕虜収容所跡と習志野教会



習志野ドイツ兵捕虜の慰霊碑

